

LANDSCAPE OF CONTEMPORARY MUSIC IN 1964



前回東京オリンピック、パラリンピック競技大会の開催年である1964年の音楽創造を振り返ります。当時のわが国の多くの作曲家たちにとっての関心は1962年と64年に来日したジョン・ケージに向けられていました。近代西洋芸術音楽の範疇から抜け出し、音楽が作曲者のコントロールを離れ、自然物のように存在することを目指して、ジョン・ケージは偶然性の音楽を創出しました。一方で、1964年は、ケージのそうした「絶対零度」の音楽から離脱し、戦後の西洋前衛音楽が否定した調性と旋律の繰り返しを復活させたミニマル・ミュージックの先駆的な名作であるライリーの〈インC〉が作曲された年でもあります。コンサートでは、これらケージとライリー作品に加え、西洋の伝統的な音楽語法から脱し、新しい表現を目指した湯浅譲二、一柳慧、高橋悠治といった日本人作曲家たちの1964年の作品を紹介します。

これら1964年作品に横溢する自由な創造精神が、現代に飛び火して、新しい時代の音楽表現への刺激となることを願いつつ、東京2020応援プログラムとして、この公演を開催します。



音風景

湯浅譲二：ホワイト・ノイズによる〈プロジェクション・エセムプラスチック〉(1964)

高橋悠治：クロマモルフII (1964)

ジョン・ケージ：〈ピアノのための電子音楽〉(1964)より

一柳慧：弦楽四重奏曲 第1番 (1964)

テリー・ライリー：インC (1964)

アンサンブル・ノマド

佐藤紀雄 (音楽監督・指揮・ギター) 木ノ協道元 (フルート)

菊地秀夫 (クラリネット) 野口千代光 (ヴァイオリン)

花田和加子 (ヴァイオリン) 甲斐史子 (ヴィオラ)

松本卓以 (チェロ) 佐藤洋嗣 (コントラバス)

宮本典子 (パーカッション) 中川賢一 (ピアノ)

磯部英彬 (エレクトロニクス)

片山杜秀 (企画監修・おはなし)



2021年7月11日 [日] 13:15開場・14:00開演

水戸芸術館コンサートホールATM

料金 (全席指定)：一般：3,000円/U-25 (25歳以下) 1,000円

※U-25チケットの取り扱いは水戸芸術館のみ

◎チケット発売：2021年4月24日 [土]

◎財団運営維持会員先行予約：

4月20日 [火] ※電話・WEB予約のみ

◎水戸芸術館メンバーズ先行予約：

4月21日 [水] ※電話・WEB予約のみ

主催：公益財団法人 水戸市芸術振興財団



※当館では新型コロナウイルス感染拡大防止の対策を行っており、通常より間隔を空けて配席する予定です。ただし今後の感染状況により、座席が追加される場合や席の移動をお願いする場合があります。あらかじめご了承の上、お求めください。

左上楽譜：全音楽譜出版社「一柳慧：弦楽四重奏曲第1番」/日本音楽著作権協会 (出) 許諾第2102764-101号

水戸芸術館
ART TOWER MITO

LANDSCAPE OF CONTEMPORARY MUSIC IN 1964



佐藤紀雄
(音楽監督・指揮・ギター)

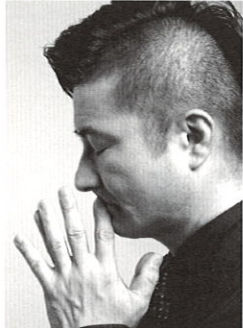
アンサンブル・ノマド Ensemble NOMAD

1997年、ギタリスト佐藤紀雄の呼びかけによって集まった、無類の個性豊かな演奏家によって結成されたアンサンブル。「NOMAD」(遊牧、漂流)の名にふさわしく、時代やジャンルを超えた幅広いレパートリーを自在に採り上げ、斬新なアイデアやテーマによるプログラムによって独自の世界を表現するアンサンブルとして内外から注目されてきた。2002年に行った定期演奏会「ケージとメシアンの間で交わす自然と宇宙に関する往復書簡」は大きな反響をよび、サントリー音楽財団「第2回佐治敬三賞」を、2015年に行った定期演奏会「再生へVol.3: 祈り〜エストニアから震災復興を祈るコンサート」により「ウィーン・フィル&サントリー音楽復興祈念賞」を受賞した。海外からの招待も多く、2000年オランダの「ガウデアムス音楽週間」、2003年ベネズエラで行なわれた「フェスティバル・アテンポ」、2005年11月パリで行われた「フェスティバル・アテンポ」およびイギリスの「ハダースフィールド現代音楽祭」、2007年にはメキシコの「モレリア音楽祭」、また2008年10月にはソウルでの「パン・ミュージック・フェスティバル」などに出演。2009年秋には、中国の北京首都師範大学、北京中央音楽学院、四川音楽学院で中国人作品を中心としたプログラムの公演を行ない、好評を博した。2011年には2度目の韓国公演を開催。2013年7月にはエストニアとオランダで公演を開催。2014年にはメキシコのセルバンティーノ音楽祭に日本を代表するアンサンブルの1つとして招聘された。2015年12月に再び中国四川公演を行い、今後も中国、オランダ、スイス、フィンランド、ドイツなどでの公演を予定している。

また、近年ではアウトリーチ活動にも積極的に取り組み、保育所、病院、小学校、特別支援学校等で訪問コンサートやワークショップを行なっている。

CDは、近藤譲「梶子」(ALCD-47)、「空の眺め」(ALCD-57)、「オリエント・オリエンテーション」(ALCD-67)、「表面・奥行き・色彩」(ALCD-93)、石田秀実「神聖な杜の湿り気を運ぶもの」(ALCD-60)、池辺晋一郎「炎の資格」(CMCD-28121)、福士則夫「花降る森」(CMCD-28128)が発売されている。海外では2011年秋にエベルト・バスケスの「Bestiario (動物寓話集)」、2015年秋に「Pruebas de vida (生命の証)」がリリースされている。2014年にはオリジナル・アルバム「めぐる-Meguru」を発売。2015年夏から秋にリリースされた「現代中国の作曲家たち」シリーズは、レコード芸術誌の特選盤や朝日新聞の「for your collection」推薦盤に選ばれている。2018年にはポール・ズコフスキーと共に「JO KONDO, CRAIG PEPPLES conducted by PAUL ZUKOFSKY」をリリース。また、近年のリリースでは「Dai Fujikura: Diamond Dust」や「Dai Fujikura: Turtle Totem」にも演奏が収録されている。

公式ウェブサイト: www.ensemble-nomad.com/



木ノ脇道元(フルート)



菊地秀夫(クラリネット)



野口千代光(ヴァイオリン)



花田和加子(ヴァイオリン)



甲斐史子(ヴィオラ)



松本卓以(チェロ)



佐藤洋嗣(コントラバス)



宮本典子(パーカッション)



中川賢一(ピアノ)

●チケットの取り扱い

水戸芸術館(9:30~18:00/月曜休館)

・エントランスホール内チケットカウンター

・チケット予約センター 029-231-8000

・ウェブ予約 <https://www.arttowermito.or.jp/ticket/>

・E+ (イープラス) <http://eplus.jp> (PC・携帯)

かわまた楽器店 029-226-0351

ヤマハミュージックリテイリング水戸店 029-244-6661(店頭販売のみ)

●お問い合わせ: 水戸芸術館 チケット予約センター 029-231-8000/営業時間: 9:30~18:00 (月曜休館)

●車椅子のお客様、盲導犬、介助犬同伴のお客様は、指定の座席へのスムーズなご案内のため予約時にお知らせください。

●公演中止の場合を除き、一度購入されたチケットの払い戻し、交換等は出来ませんのでご了承ください。●公演の内容、曲目等は、変更になる場合があります。●未就学児のご入場はご遠慮ください。

【新型コロナウイルス感染拡大防止に関するお客様へのお願い】

●新型コロナウイルス感染症の再拡大など、状況の悪化により内容の変更や公演の中止または延期を余儀なくされる場合もございますので、最新情報は当館ウェブサイトやSNSにてご確認ください。

●入館時の検温にご協力をお願いします。37.5度以上の熱があった場合はご入場をお控え願います。●館内ではマスクの着用をお願いします。●まわりの方とは距離をおとりください。

●体調がすぐれないお客様はご来場をお控えください。●手洗いと手指の消毒にご協力ください。●クロックのご利用は当面の間、中止させていただきます。

●出演者とのご面会はご遠慮いただきます。また、出演者への花束やプレゼントは、スタッフがお預かりします。

